

【選択問題 1】

7 次の文章を読んで、問 1～問 2 に答えよ。

医療技術の発達に伴って、医療現場で生じる問題の一つに、終末期における治療の開始・不開始及び治療の中止がある。具体的には、人工呼吸器などの延命装置を装着すべきか否か、回復の見込みのない患者に装着されている延命装置を外すべきか否か。これらの判断は、患者の生死を分ける判断だけに、家族、医師をはじめとする医療従事者のそれぞれが難しい判断を迫られる。

そこで、厚生労働省は2007年5月、よりよき終末期医療の実現に資するために「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン^(a)」を策定し、普及を図っている。以下の文章は、このガイドラインの解説編で示されている基本的な考え方である。

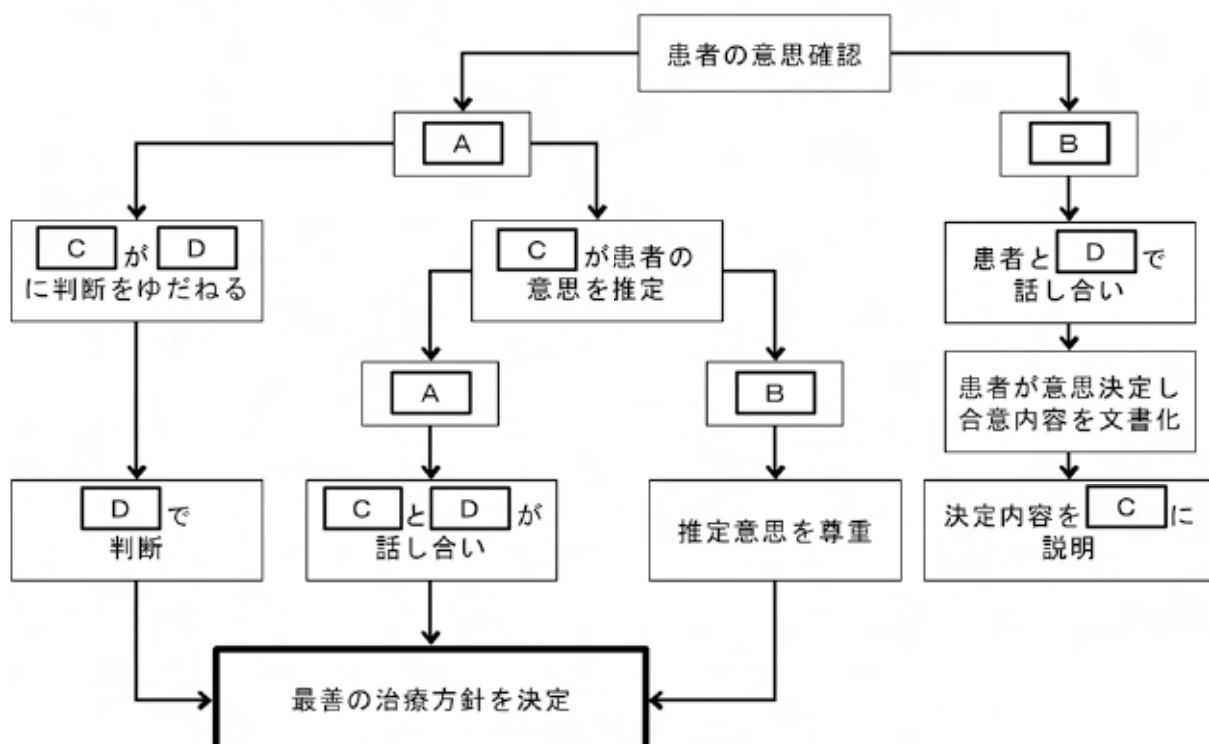
〔基本的な考え方〕

- 1) このガイドラインは、終末期を迎えた患者及び家族と医師をはじめとする医療従事者が、最善の医療とケアを作り上げるプロセスを示すガイドラインです。
- 2) そのためには担当医ばかりでなく、看護師やソーシャルワーカーなどの、医療・ケアチームで患者及び家族を支える体制を作ることが必要です。このことはいうまでもありませんが、特に終末期医療において重要なことです。
- 3) 終末期医療においては、できる限り早期から肉体的な苦痛等を緩和するためのケアが行われることが重要です。緩和が十分に行われた上で、医療行為の開始・不開始、医療内容の変更、医療行為の中止等については、最も重要な患者の意思を確認する必要があります。確認にあたっては、十分な情報に基づく決定であることが大切です。その内容については、患者が拒まない限り、家族にも知らせることが望まれます。医療従事者とともに患者を支えるのは、通常、家族だからです。
- 4) 患者の意思が明確でない場合には、家族の役割がいっそう重要になります。この場合にも、家族が十分な情報を得たうえで、患者が何を望むか、患者にとって何が最善かを、医療・ケアチームとの間で話し合う必要があります。
- 5) 患者、家族、医療・ケアチームが合意に至るなら、それはその患者にとって最もよい終末期医療だと考えられます。医療・ケアチームは、合意に基づく医療を実施しつつも、合意の根拠となった事実や状態の変化に応じて、柔軟な姿勢で終末期医療を継続すべきです。
- 6) 患者、家族、医療・ケアチームの間で、合意に至らない場合には、複数の専門家からなる委員会を設置し、その助言によりケアのあり方を見直し、合意形成に努めることが必要です。
- 7) 終末期医療の決定プロセスにおいては、患者、家族、医療・ケアチームの間での合意形成の積み重ねが重要です。

このガイドラインが策定されたことによって、終末期医療の在り方に対する一つの道筋は示されたものの、個々のケースに当てはめた場合、依然として曖昧な部分も多く、なお議論の余地が残されている。^(b)

問1 下線部分終末期医療の決定プロセスに関するガイドラインについて、次の図はこのガイドラインにおいて示された、終末期医療の決定プロセスを模式的に表したものである。前のページの【基本的な考え方】を参考にして、次の図の **A**、**B**、**C**、**D** に入る語句の組合せとして適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **22**。



- | | A | B | C | D |
|---|------|------|----------|----------|
| ① | できる | できない | 家族 | 医療・ケアチーム |
| ② | できない | できる | 家族 | 医療・ケアチーム |
| ③ | できる | できない | 医療・ケアチーム | 家族 |
| ④ | できない | できる | 医療・ケアチーム | 家族 |

問2 下線部分依然として曖昧な部分も多く、なお議論の余地が残されているに関して、「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」の解説編で示されている【基本的な考え方】について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 。

- ① 家族の範囲が示されておらず、また、家族の意見が分かれてしまったときの対応についての記述がない。
- ② 医療・ケアチームとは、担当医師と看護師のみで構成され、ソーシャルワーカーは含まれていない。
- ③ 患者の下した決定内容は、患者の意思を尊重するという観点から、家族に知らせるべきではないとしている。
- ④ 患者または家族が一度下した決定は、いかなる理由があっても変更すべきではないとしている。

【選択問題 1】

8 次の会話をを読んで、問 1～問 2 に答えよ。

聡美：昨日はうちの姉さんの結婚式だったんだ。姉さんのウエディングドレス姿、本当にきれいだったよ。

高広：結婚式ってあれの一つだよ。ほら、この前の授業でやった、人生の節目でおこなう儀式…。

聡美：通過儀礼のこと？

高広：^(a)そう、それ。でも、そんなおめでたい日に大雨で大変だったね。

聡美：確かに式場の庭園で記念撮影はできなかったけど、ずっと室内にいたからあまり関係ないよ。それより、休日で大安の日って限られているからお天気のことまでは気にしてられないよね。

高広：大安かあ。やっぱり、そういうことを気にするんだ。縁起がいいとか。

聡美：まあ、日頃は気にしていないけど、仏滅の日は結婚式を避けるカップルが多いって聞いたよ。仏滅の日は式場の予約も取りやすいらしいし。^(b)

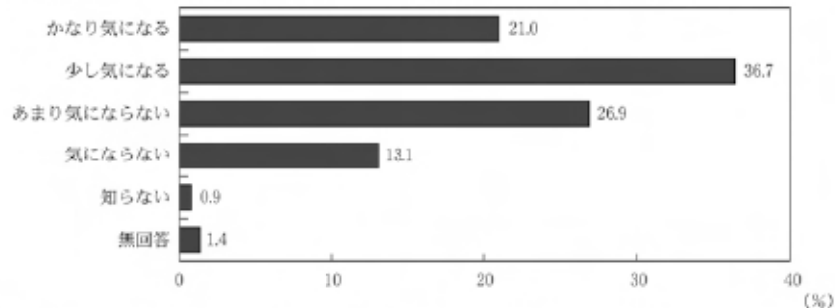
高広：普段はあまり気にしないことでも、大事な日には縁起をかついだりするってことかなあ。

問 1 下線部分通過儀礼に関連して、通過儀礼の例として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 22。

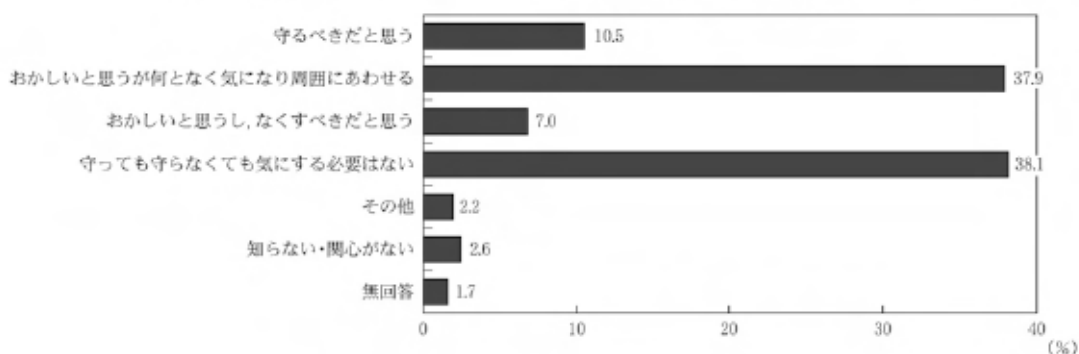
- ① 子どもが 3 歳、5 歳、7 歳にあたる年の 11 月に神社に参詣する。
- ② 生まれた年と同じ干支に戻る 60 歳になったことを祝う。
- ③ 子どもが生まれてから 7 日目にあたる日にお祝いをする。
- ④ 毎年、陰暦の 7 月に供物をそなえて先祖の霊を供養する。

問2 下線部分**仏滅**に関連して、次の二つのグラフに関する生徒の発言として適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

(グラフ1)「結婚式は『仏滅』の日はよくないとして避ける」という風習が気になりますか



(グラフ2)「結婚式は『仏滅』の日はよくないとして避ける」という風習をどう思いますか



(北九州市『平成17年度 人権問題に関する意識調査』より)

生徒A：〔グラフ1〕では、この風習が「かなり気になる」と「少し気になる」を合わせた割合が5割以上もいるね。でも、〔グラフ2〕をみると、この風習を「守るべきだと思う」と答えた人の割合は約1割に過ぎないね。

生徒B：〔グラフ1〕では、この風習が「気にならない」と「あまり気にならない」を合わせた割合が5割以上もいるね。でも、〔グラフ2〕をみると、この風習を「おかしいと思うし、なくすべきだと思う」と答えた人の割合は約2割しかいないね。

生徒C：〔グラフ1〕では、この風習が「かなり気になる」と「少し気になる」を合わせた割合が約2割しかいないね。でも、〔グラフ2〕をみると、この風習を「守るべきだと思う」と答えた人の割合は4割以上もいるよ。

生徒D：〔グラフ1〕では、この風習が「気にならない」と「あまり気にならない」を合わせた割合が約1割しかいないね。でも、〔グラフ2〕をみると、この風習を「守るべきだと思う」と答えた人の割合は4割以上もいるよ。

- ① 生徒A ② 生徒B ③ 生徒C ④ 生徒D

【選択問題 1】

- 9 次のメモは生徒が「高齢社会」についてレポートを作成するために、その内容の概略を記したものである。これを読んで、問1～問2に答えよ。

メモ

ア 高齢社会 高齢化率が14%を超えた社会
日本では1994年に高齢社会に突入した

イ 高齢社会対策基本法（1995年）

ウ ゴールドプラン21

エ 特別養護老人ホームやケアハウスなど、の充実をはかる

オ ホームヘルパーの派遣や訪問看護など、の充実をはかる

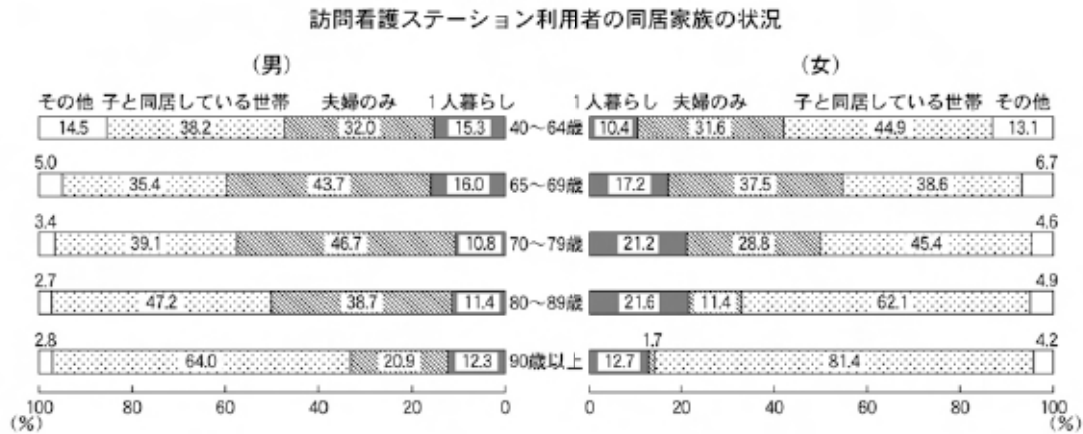
カ 介護する家族の負担の軽減→ の制定

キ 介護を必要とする人とその家族がおかれている状況
(a)

- 問1 メモ中の 、、 に入る語句の組合せとして適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- | | <input type="text" value="A"/> | <input type="text" value="B"/> | <input type="text" value="C"/> |
|---|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ① | 在宅介護 | 施設介護 | 介護保険法 |
| ② | 施設介護 | 在宅介護 | ハートビル法 |
| ③ | 施設介護 | 在宅介護 | 介護保険法 |
| ④ | 在宅介護 | 施設介護 | ハートビル法 |

問2 下線部分介護を必要とする人とその家族がおかれている状況に関連して、次のグラフについて述べた文章として適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **23**。



- ① 65～69歳についてみると、男性は「1人暮らし」の割合が最も高い。それに対して、同じ65～69歳でも、女性の場合は「夫婦のみ」の割合が最も高くなっている。
- ② 70～79歳についてみると、男性は「夫婦のみ」の割合が最も高い。それに対して、同じ70～79歳でも、女性の場合は「子と同居している世帯」の割合が最も高くなっている。
- ③ 80～89歳についてみると、男性は「夫婦のみ」の割合が最も高い。それに対して、同じ80～89歳でも、女性の場合は「1人暮らし」の割合が最も高くなっている。
- ④ 90歳以上についてみると、男性は「1人暮らし」の割合が最も高い。それに対して、同じ90歳以上でも、女性の場合は「夫婦のみ」の割合が最も高くなっている。

【選択問題 2】

10 次の文章を読んで、問 1 に答えよ。

ヨーロッパでは上流階級にだけ文化があつて、下流階級には文化がありません。貴族たちが文化を独占していたわけです。だからヨーロッパの **A** 文化というのは、すべて「**B**」して安物化された貴族文化」です。

たとえば貴族が音楽を聴くときは室内管弦楽団です。自宅で、自分のお抱えの楽士に演奏させる。自分が演奏したり会話していたら、それにあわせて曲調やテンポもかわるもの。完全なオーダーメイドの演奏。それこそが音楽でした。

それが **A** 化社会になったとき、オーケストラというのが生まれた。私たちはオーケストラというのを「音楽の贅沢品」と思っていますが、大間違いです。オーケストラというのは、「**A**」向けの安物」です。なぜかという、見知らぬ人たちと公共の場所で聴くような下品な音楽だから。

中世の作曲家が作った音楽というのは、本来、閉じられた空間である居間や舞踏会場などで、多くてもせいぜい十～十五人ぐらいの編成で聴くものです。それを入場料さえ払えば誰でも入れるような大ホールに千人とかの人間をすし詰めにして聴かせるように編成したのがオーケストラ音楽です。つまり **B** 品です。

(中略)

貴族文化というのが^{すた}廃れてしまって、**A** 社会が成立した結果、オーケストラゼーションの技術がどんどん上がって行って、本当の室内管弦楽を聴く環境が廃れた。結果としていまや、音楽の本流はオーケストラになってしまった。これこそ貴族文化が廃れて **A** 文化が伸びたという証拠ですね。

このように、**A** 社会の文化というのは、かつてあつた階級分化・貴族文化をどんどん **A** 化することによって栄養を得てきました。

(中略)

面白いものや楽しいもの、贅沢品というのは **C** の中からもっとも「いいもの」が出てくんです。お金持ちや王様「だけ」に提供されるものは、箱や由来こそ立派かもしれませんが、品質は「そこそこ」の中級品です。ほら、よく言うじゃないですか。「老舗・名物にうまいものなし」という法則ですね。

(岡田斗司夫『「世界征服」は可能か?』による)

問1 文章中の **A** , **B** , **C** に入る語句の組合せとして適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **24** 。

	A	B	C
①	大衆	個別生産	独占
②	大衆	大量生産	自由競争
③	消費	大量生産	独占
④	消費	個別生産	自由競争

【選択問題 2】

11 次の文章を読んで、問 1 に答えよ。

合計特殊出生率が過去最低を更新し続ける中で、少子化の進展は、経済活動の低迷など国民生活に多大な影響が懸念され、国民の問題意識も高まっている。

しかし、これまで、少子化の大きな原因の一つと指摘されている「晩婚化」、「未婚化」に関して、その解決に向けた議論は十分にはなされておらず、その要因を分析したうえで結婚を阻害している社会的な課題を解消すること、^{ある}或いは、家庭を築くことを円滑化する社会的機能を充実することの必要性は、広く共有されるに至っていない。

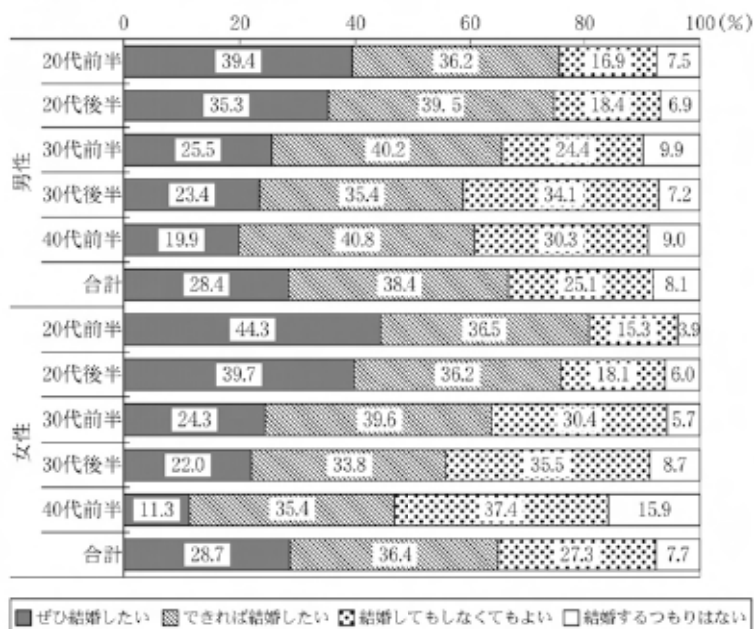
よって、「結婚して家庭をもつこと」自体の促進は、自治体や一部の企業での取組は見られるものの、政策的な対応は十分に行われてこなかった。

独身層に広く存在する「結婚したい」という希望や「結婚したくてもできない」という現状を踏まれば、「結婚して^(a)家庭をもつこと」について、当事者の自由な意思と選択に基づくものであるとの大原則に立ちつつ、その円滑化に向けた方策を検討することは社会的に重要であると考えられる。

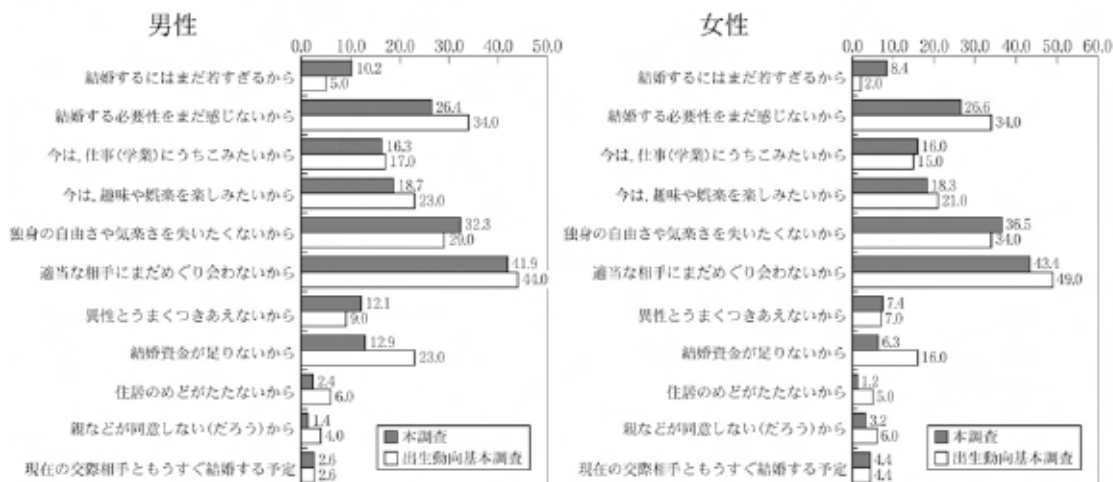
(経済産業省『少子化時代の結婚関連産業の在り方に関する調査研究報告書』平成18年5月 による)

問1 文章中の下線部分「結婚したい」という希望や「結婚したくてもできない」という現状に
 (a)
 関連して、次の【グラフ1】および【グラフ2】について述べた文章として適切なものを、
 次のページの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **24**。

【グラフ1】 独身者の結婚の意向



【グラフ2】 独身にとどまっている理由



資料：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(2002)」、「未婚者アンケート調査」より作成

(経済産業省『少子化時代の結婚関連産業の在り方に関する調査研究報告書』による)

- ① 【グラフ1】によると、「結婚するつもりはない」と回答した人の割合は、男性・女性とも合計では10%に満たない。【グラフ2】によると、本調査、出生動向基本調査のどちらの調査においても、独身にとどまっている理由として、男性・女性とも40%以上の人、「適当な相手にまだめぐり会わないから」と回答している。
- ② 【グラフ1】によると、「結婚するつもりはない」と回答した人の割合は、男性・女性ともすべての年齢層で10%に達していない。【グラフ2】によると、本調査で「結婚資金が足りないから」と回答した人の割合は、男性・女性とも20%を超えている。
- ③ 【グラフ1】によると、「ぜひ結婚したい」と「できれば結婚したい」と回答した人の割合の合計は、男性・女性ともすべての年齢層で50%を超えている。【グラフ2】によると、本調査、出生動向基本調査のどちらの調査においても、独身にとどまっている理由として、男性・女性とも40%以上の人、「適当な相手にまだめぐり会わないから」と回答している。
- ④ 【グラフ1】によると、「結婚するつもりはない」と回答した人の割合は、男性・女性とも合計では10%に満たない。【グラフ2】によると、出生動向基本調査で、「結婚する必要性をまだ感じないから」と回答した人の割合は、他の項目と比べて男性・女性とも最も高い。

【選択問題 2】

12 次の会話文を読んで、問 1 に答えよ。

生徒 X : [表] によると情報が漏れるということはすごい被害になるんだね。

生徒 Y : 現在では [A] があるため、個人情報を扱う企業は、慎重な対応が求められるね。

生徒 Z : 大規模な個人情報の漏えいは企業にとって大きな損害になるよ。たとえば、かつてあるプロバイダーから450万件以上の個人情報(氏名、住所、メールアドレス、電話番号など)が流出したけど、この会社は会員の全員に500円の商品券をおおびに配布したんだ。もし450万人に配ったとすると、これだけで22億円以上の損害になるね。

生徒 X : インターネット上で漏えいした情報を回収するのは [B] だよ。

生徒 Y : よくブログなどで自分の写真や氏名などの個人情報を公開している人がいるけど、誰でも見ることができるのだから個人情報の取扱いには気をつけないと。

生徒 Z : それから電子メール等を利用する時も、情報は暗号化して送信するようにした方がいいね。

生徒 Y : その時に使用するパスワードも安易なものではだめだよ。パスワードを解析するプログラムもあるんだ。

生徒 X : 複雑なパスワードならば大丈夫なの？

生徒 Y : いや、時間をかければ複雑なパスワードも解析できるんだ。だから重要なパスワードはひんばんに変更することも必要なんだよ。

生徒 Z : 自動車が発達して便利になると同時に新たな交通ルールが生まれたように、インターネットが発達した現在ではそれに対応した [C] が求められるのだね。

【表】2007年個人情報漏えいインシデント概要データ

漏えい人数	3053万1004人
インシデント件数	864件
想定損害賠償総額	2兆2714億円
一件あたりの漏えい人数	3万7554人
一件あたりの漏えい損害金額	27億9386.3万円
一人あたりの平均想定損害賠償額	3万9017円

注：インシデントとは、この場合、情報管理やシステム運用に関して保安上の脅威となる現象や事案のことを指す。

(日本ネットワークセキュリティ協会『情報セキュリティインシデントに関する調査報告書』により作成)

問1 会話文中の **A** , **B** , **C** に入るものの組合せとして適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **24**。

	A	B	C
①	個人情報保護法	可能	情報デバイド
②	個人情報開示制度	不可能	情報デバイド
③	個人情報開示制度	可能	情報モラル
④	個人情報保護法	不可能	情報モラル

【選択問題 2】

13 次の会話文を読んで、問 1 に答えよ。

生徒 X : 去年の北京オリンピックでは陸上でジャマイカの選手が大活躍したね。

生徒 Y : もともと、短距離種目に強い選手が多い国なんだ。実は1992年のバルセロナオリンピックや1996年のアトランタオリンピックの男子100mの金メダリストも、ジャマイカ出身だったんだ。だけど、当時はジャマイカ国内での練習環境が整っていないため、イギリスやカナダに帰化して出場していたんだ。

生徒 Z : もし日本から出場していれば、日本も短距離種目でオリンピックの金メダルをとることができたね。

生徒 Y : 強い外国人選手が日本で活躍すれば、日本の競技力もアップするのではないかな。プロ野球やサッカーでは多くの外国人選手が活躍することで、日本全体のレベルアップにつながっているよ。

生徒 Z : 今の時代は **A** しているんだから、外国の優秀な選手にどんどん日本に来てもらえばいいんだよ。

生徒 X : でも、外国人選手ばかりになったら、日本人の選手が活躍できないよ。

生徒 Y : 実際に日本の多くのプロスポーツでは、外国人選手の出場を制限しているしね。

生徒 Z : スポーツの世界は実力の世界だからね。国籍で制限をかけるのはおかしくないかな。

A が進んで、日本にも外国から多くの労働者や留学生が来ているけど、中には日本が嫌いになって帰る人も多いと聞いたことがあるよ。外国人を特別扱いするようなルールや規制がある国は、やがて外国から優秀な人が来なくなってしまうと思うよ。

生徒 Y : 外国人を受け入れるということは、受け入れる側にもそれなりの心構えが必要ということだね。外国人が日本に溶け込むために苦勞していた話を聞いて **B** の大切さを考えさせられたよ。異なる文化の人たちが一緒になることは難しいのだろうが、これからの時代はそれを克服しなければならないのだろうね。

問1 会話文中の **A** , **B** に入るものの組合せとして適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **24** 。

A

B

- | | | |
|---|----------|---------|
| ① | ナショナリズム化 | 排他的な価値観 |
| ② | グローバル化 | 排他的な価値観 |
| ③ | ナショナリズム化 | 異文化理解 |
| ④ | グローバル化 | 異文化理解 |